

日本防災士会 登録専門員一覧

専門性について

- ①防災・減災に関する分野において、講演の講師、研修会の指導、学会での発表、書籍・雑誌などで発表
- ②学校教育、市民活動、文化活動などの分野において、教育、指導、広報の経験があり、防災、減災のテーマで指導
- ③消防・警察・自衛隊等の分野における防災・減災等の専門家
- ④資料、記録などで実績を確認できる
- ⑤その他

No.	都道府県	専門性	自己PR	推薦
1	北海道	①講師②指導④資料	①石狩全市に自主防災組織設立当時から組織作りに参画し、避難所、防災訓練リーダー養成講座等の企画と指導に関わりました②防災士、市民防災講座修了、防火管理者、消防設備士、消防設備点検資格者を取得しました③生涯学習指導員を取得し、市教育委員会と協議で、さまざまな講座を企画・運営しています。(1年に1回は、防災に関わる講座を実施、一部講師)	
2	北海道	①講師②指導③専門	整骨師、鍼灸師、日本赤十字社救急法指導員 救急法の講義で災害時の救護、各災害時の心得、非常用持ち出しの展示 赤十字救急法救急員の合格資格者に対して、防災士の認定試験を説明し社会の様々な場で活動できる、防災士、救急法救急員 地域での冷静な判断、誠実な態度でのリーダーシップを発揮できる人材の育成。	
3	北海道	①講師②指導③専門	①昭和43年～平成20年までの間札幌市消防局にて勤務、この間に防火・防災関連の担当者となり、知識を習得した。②平成7年の阪神・淡路大震災時の現在視察に出向、その後、各団体での研修会等において状況伝達した。③平成8年災害ボランティア団体に加入。・NPO災害救援ネットワーク北海道(アドバイザー)・NPO日本救難バイク協会入会 ④平成12年3月北海道有珠山噴火に伴うボランティアセンター設立時、北海道庁社会福祉の要請により現地本部入り。(本部アドバイザー)⑤平成15年～20年、札幌市消防局「教えてファイヤーマン」市内小学校の社会学習授業に出向。⑥平成20年～現在、財団法人札幌市防災協会にて、防火防災に関する資格取得講習の講師。	
4	北海道	①講師②指導③専門④資料	昭和32年～平成11年迄の間、札幌市消防勤務、その間火災等の災害現場での指揮統制の警防・予防(庶務・危険物)等の各種業務に従事、平成9年の国体に防災講演・活動支援隊として訓練に参画した。 平成11年4月～北海道消防協会事務局局長就任、消防職団員の指導育成・防災訓練の指導に当たる。北海道消防学校特別講師(災害・自主防災・地震対策)担当、地域自主防災(防火・防災講演・研修会・訓練等)の企画指導者。 平成24年3月～北海道防災士会(支部)代表の任務。 今後、道民の生命・身体・財産を守るために活躍したい。	北海道支部
5	北海道	①講師②指導③専門④資料	昭和44年～平成20年まで、札幌市消防局に勤務。 この間、予防(火災調査・危険物)、警防(火災・防災)等での災害現場責任者を務め、道内での大規模災害(有珠山・豊浜トンネル崩落)等にも派遣され、多くの体験・経験をしている。 退職後は札幌市のボランティア団体に属し、防火・防災支援隊として活躍中、北海道防災士会設立時に委員として参加、現在役員(監事)として会の運営に携わっている。	北海道支部
6	北海道	①講師②指導③専門④資料	職場及び町内・マンション自治体等にて、長年 防火・防災の役員を務め、大災害時における減災に取組み、防災士としての活動を目指している。 北海道防災士会設立の話があり、貢献したいと設立委員会に参画、役員としてさらにスキルアップに努め、広く減災について啓蒙を図りたい。	北海道支部
7	北海道	①講師②指導③専門④資料	私は、今迄に地域町内会役員及び防災ボランティア支援活動に参画、地域の人たちと交流を図りながら、防火防災の指導・活動を進めておりました。このことから、早い時から防災士を目指して地域での各種訓練・研修会等に参画、知識の向上と災害時での活動のため、普段からスキルアップに努めている。	北海道支部

No.	都道府県	専門性	自己PR	推薦
			東日本大震災を心に刻み、地域の人たちに減災には何が必要か等問い、自助・共助を訴え、復興のための協働について説いていくことを誓い、専門員をめざします。	
8	北海道	①講師②指導③専門④資料	地域の消防職員として、住民の生命・身体・財産を守るため、災害の軽減及び救命の普及に貢献し、退職後はその経験を生かし、貴重な財産である体験を地域の住民に伝達し、防災士による災害時の減災活動及び普及・啓発を図りたい。	北海道支部
9	岩手県	③消防吏員経験における防災・減災	消防吏員として得た知識と経験を、防災士として地域の防災活動に貢献したいと思っています。パワーポイントにより資料作成・発表を行います。	
10	宮城県	①講師②指導③専門	現在、消防本部の予防課長として地域の婦人防火クラブ、幼年消防クラブ、自主防災組織の指導養成にあたっています。 また、日本防災士会宮城県支部の副支部長(19年は研修委員長)として会の運営に活躍しています。支部では防災士による研修会を企画し、住民は私たちに何を期待しているのかを研究するとともに、防災士が地域住民に対し活動を指導する時の注意事項をみんなで一緒に勉強している。 更に、地域や職域では災害時においてやるべき事。平常時にはこんな準備や心構えを話し、自助・共助・協働の基本を地域の人々に教えていきます。講演会では笑顔で語りかけ、明るい雰囲気をもって分かりやすく説明することをモットーに、地域の安全安心を願ってがんばっております。	宮城県支部
* 11	宮城県	①講師②指導④資料	専門分野の情報を一般の人にわかりやすく伝えて、減災意識の向上を目指しています。子どもから、お年寄りまで、理解ができる表現やツールを工夫して講演や口座の開催、オリジナルDIGを行っています。	
12	茨城県	①講師②指導③専門④資料⑤その他	阪神・淡路大震災以来、被災地へ赴き救援活動を実施しています。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科で危機管理学を修得。大学、短大、専門学校で防災・被災学を講義。各地で防災対策について講演を実施。実体験と学問的視点から防災・減災対策をお話させていただきます。	
13	千葉県	①講師	船橋市生涯学習サポート事業講師。千葉県支部 幹事。	
14	千葉県	①講師②指導③専門	消防吏員として主に救急業務を担当し、救急普及講習や地域防災活動に協力させて頂き、退職後は医療専門学校の教員となり、これから医療・防災に携わる若者に教育・指導をしている他、各種撮影の監修にも携わっております。 防災に興味のある若者を育てる。伝える技術を強化する。この2点を中心に、地域の安心・安全をしっかりとカバーする専門員を目指します。	
15	埼玉県	地震・津波・火山に関する観測、予報、情報	気象庁で40余年、地象(地震・津波・火山)の仕事を行ってきました。 前半の約20年間は、気象庁本庁において地震や火山の観測、津波予報などを行うとともに、東海地震につながる異常か否かを判断する「地震防災対策強化地域判定会」や火山活動を評価する「火山噴火予知連絡会」の事務局業務に携わってきました。 平成以降の約20年間は、おもに气象台や測候所において、地象や気象に関する知識普及・啓発や観測施設の設置・保守などに努めてきました。 災害時に被災者が必要とする情報は時々刻々に変化していきませんが、発災直後は、何が起きたかということ適切に把握し、判断をするための情報が最も必要とされます。その情報を理解するためには、災害をもたらす現象のしくみや情報について日ごろから学んでおくことが欠かせません。 地震、津波、火山に関する「しくみ」や「情報」などについて、わかりやすく紹介します。	
16	埼玉県	①講師②指導③専門	(経歴) (1)消防大学校元助教授 (2)消防大学校元非常勤講師 (3)国士舘大学非常勤講師 (4)東京消防庁震災対策担当副主幹、署長(2署)、参事(2期)、第6消防方面本部長 (5)国際緊急援助隊(救助チーム)派遣	

No.	都道府県	専門性	自己PR	推薦
17	埼玉県	①講師②指導③専門④資料	<p>①防災・減災に関する分野において、講座の講師、研修会の指導、学会での発表、書籍・雑誌などで発表②学校教育、市民活動、文化活動などの分野において、教育、指導、広報の経験があり、防災、減災のテーマで指導③消防・警察・自衛隊等の分野における防災・減災等の専門家</p> <p>自然地理学(特に地形学)を専門としています。被災現場の現地調査に基づき、講演・学会発表・論文発表などを行っています。自然地理学では身近な自然環境(地形・気候・水環境)を扱います。こうした自然環境を知ることが防災へ繋がると思います。</p>	
18	東京都	①講師②指導③専門④資料	<p>現在、消防関係の会社を経営しております。大規模な地震が発生した場合、建物や人命被害が発生されることが予想でき、また、二次的災害も予想される中、消防経験・知識・技術を少しでも役に立てればと専門員に登録いたしました。</p>	
19	神奈川県	①講師	<p>昭和39年6月16日午後1時すぎの新潟地震での教訓で身に沁みて、事前防災の必要性を訴え続け、はや45年が過ぎました。その後も、各地でまさか、の大地震が来て生身の体に家具が倒れ、つぶされ、はさまれ、の報道に対岸の火事のことと、忘れ去られてしまふ、倒れそうなものは止めておく重要性を、講和と実演で根気よく家具転倒防止対策の普及に皆様と共に社会のお役に立ちたいと努力します。</p>	神奈川県横浜支部
20	静岡県	①講師、寄稿	<p>大手電機メーカーにて防災、事業継続マネジメント、危機管理分野の13年実務経験し定年後、個人事務所を立ち上げ経営コンサルタントとして独立しました。静岡県人として、また防災士として何かお役に立てればと思ひ申請いたしました。</p> <p>実績 独立後大手電気メーカー及び中堅制御機メーカーのコンサルタントを3年近く担当しております</p> <p>また、上記実務を継続しながら①BS1経済最前線 平成17年7月30日(災害から会社機能をどう守る)へのTV出演</p> <p>②雑誌への寄稿 SEAJ Journal 200</p>	
21	静岡県		<p>小生は安全や防災のコンサルタント事務所を開設しており、貴会の防災士登録もさせて頂いておりますし、静岡県立テクノカレッジ(技術専門校)の清水と浜松の非常勤講師として、安全や地震防災の講座を受け持っております。幾つかの企業様の同様な指導も過去何回もしております関係上、今回のこの制度ではお役に立つことが出来ると考えます。</p> <p>得意分野 講演・現場指導・研修会開催・超具体的な対策指導</p> <p>経歴 東証一部上場企業の健康安全部長、総務部長として、地震防災組織の全てをまとめると同時に、静岡県内の他企業も含めた防災指導等を得意として活動していた。現在は太陽光発電等の普及を中心として進めながら、非常時にこのシステムを活用出来るように活動している。</p>	
22	岐阜県	①講師②指導	<p>防災対策課に事務所をおく、中津川市災害救援市民会議代表</p>	岐阜県支部
23	岐阜県	①講師②指導	<p>市民防災指導員養成講座等具体的な自主防災活動について現在取り組んでいます</p>	
24	岐阜県	①講師	<p>危惧される東海・直下地震に対して自主防の育成を進めている。最近は「生活防災」の考え方を取り入れて講演活動を実施している。演習は家具転倒防止と「クウデルの法則」炊出しと簡易トイレのデモなどものづくりも力をいれる。</p>	岐阜県支部
25	愛知県	①講師②指導④資料	<p>テレビ出演歴：日本テレビ『世界一受けたい授業』(災害から絶対生還するための家庭のサバイバル学 ～半径5Mにある物がアナタを救う！～)。</p> <p>防災に関する資格及び活動：全日本スキー連盟公認スキーパトロール、愛知県スキー連盟安全対策部専門委員、日赤救急法指導員、日赤幼児安全法指導員、消防庁応急手当指導員、日本救急蘇生普及協会インストラクター、赤十字安全奉仕団役員、とよあけ応急手当普及ボランティアの会(豊明市)代表、とよあけ災害ボランティアネットワーク役員 著書：『防災・救急に役立つロープワーク』(風媒社)、『防災・救急に役立つ日用品活用法』(風媒社)</p>	愛知県支部

No.	都道府県	専門性	自己PR	推薦
26	愛知県	①講師②指導③専門④資料	平成8年よりコミュニティ活動を開始、町(つつじが丘コミュニティ)の活性化事業に参画、特に自主防災組織活性化に力を入れ、平成12年には県知事表彰受賞。現在は、知多市防災リーダー一会会長として他の地域への防災指導も行っています。	愛知県支部
27	愛知県	①講師	長い年月の災害ボランティア活動で培った知識、技術や30年以上の経験に基づく業務上から得た各種資格、免許を防災、減災活動の普及に活用したいと考えております。	愛知県支部
28	愛知県	①講師②指導③専門	①一宮市消防団副団長を拝命しています。②一宮市広報編集委員をおこなっています。③ライオンズクラブ薬害防止教室講師を行っています。	愛知県支部
29	愛知県	①講師②指導③専門	1. 企業の中で、安全衛生、防火管理(地震対策、危険物管理を含む)を昭和60年より平成10年(定年)まで担当、長期に亘る防災実務経験がある。(阪神大震災後の地震対策の見直し、防災設備の整備、建物の耐震診断と補強の実施及び消防協力隊の地域応援協定など)2. 定年後も石油会社の防災部門子会社の設立に関与し、更に名古屋市の防災管理公社を経て、平成16年より防火・防災管理者講習の講師として現在に至っている。3. 防災士であるとともに、あいち防災リーダーとして、小牧防災リーダー会の会長に任じられ、地域の防災啓発活動(出前講座、防災啓発イベント)に努めている。	愛知県支部
30	愛知県	①講師②指導④資料	平成14年愛知県防災局主催の「あいち防災カレッジ」1期生を修了し「あいち防災リーダー」の称号県知事より授与、その後リーダーのネットワーク化を図るための世話人会を立ち上げ翌15年あいち防災リーダー会(APLA)を設立し副会長及び会長代行を歴任し併せて知多ブロック(5市5町)の設立を行い平成20年度まで代表として地域の防災啓発に尽力、現在は顧問、また地元(東海市)での防災リーダー会の立ち上げを行い地元においても啓発及びリーダー育成に努めております。 その間、防災士の認証を受け平成18年愛知県支部の設立に参加し代表代行、現在代表として防災士のスキルアップ及び防災の啓発に努めております。	
31	滋賀県	①講師②指導④資料⑤その他	自然災害は平常時(事前対応)には被害抑止、被害軽減、発災時(事後対応、応急対応)復旧・復興の「減災のサイクル」を考え、事前、事後対策、体験等を通じ専門的知識を解説し市民等に伝えることを主眼に減災ボランティア、災害ボランティアとして滋賀県を中心に活動し、幅広い知識と実践を防災士として広く一般県民に普及活動を実施している。	
32	奈良県	①講師 ②指導、実践している ④資料 ⑤その他	防災・環境からの安全・安心なまちづくり事例を永年研究し、自主防災に貢献している。桃山高校教諭を定年退職するまで理科教育の大阪府私学理科教育研究会常任幹事、国土研学会理事、大阪府地学教育研究会幹事や文部省科学研究費などいただき研究してきた。最近では奈良県わくわく県民会議委員、ストップ温暖化推進員、自治会会長、自主防災会長、防災リーダー、奈良県まほろば塾講師、奈良サマーセミナー講師、安全・安心まちづくりファシリテーターなどで活躍している。大阪府教育功労賞(2001)、大阪府私学教育永年功労賞(2001)、市政有功者表彰決定をうける。	
33	大阪府	⑤その他	『防災用品や安全保護具とはどのようなものかについて、外国から来た人にもわかりやすい資料を作るにはどうしたらよいか』と言うテーマを防災士になる前から研究しております。 そのため防災用品や安全保護具、及びそれらを組み合わせたイラストをこれまでに約300種作画しており、またそれに付ける英語の説明を書くため、語彙の収集や文章の工夫を続けております。 それらを組み合わせてスライドやカレンダーの形にした防災教育／啓発用の各種資料も作成しておりますが、目下その応用としてイラスト中心型の防災用品のチェックリストを数パターン作成しており、これに和英両方の説明を添える作業に取りかかっております。 関連資格: 応急手当普及員、工業英語検定1級 所属学会: 日本災害情報学会、大学英語教育学会	

No.	都道府県	専門性	自己PR	推薦
34	兵庫県	③消防	<p>1. 35年間神戸市消防局救助隊員、消防隊員、救急隊員として災害現場活動に従事した経験知識をもって、机上のマニュアルでない実災害時における避難救助方法を一人でも多くの人々に知ってもらえることにより、尊い命美しい命を守るお手伝いができればと思っています。(平成7年阪神淡路大地震現場活動)</p> <p>2. 防災関連資格 (1)兵庫県震災建築物応急危険判定士(2)防火教育担当資格者 (3)防火対象物点検資格者等々</p> <p>3. その他 ・著書 ノンフィクション大災害に挑んだ男たち(人命救助に生命をかける消防レンジャー隊)・平成20年 フジテレビ 特ダネ! 中国四川大地震にコメンテーターとして出演等</p>	
35	兵庫県	①講師④資料⑤その他	<p>私は阪神・淡路大震災で約3ヶ月弱の避難生活を経験しました。現在、学生時代より取り組んでいる防災を仕事と両立しながら、ライフワークとしています。災害時要援護者に対する配慮・必要性を多くの人々に呼び掛け、ユニバーサルデザイン(UD)のワークショップで発表、小学校の授業でのボランティアサポーターなどに参加。「防災情報新聞」の本紙特約リポーターで何度か取材記事を掲載して頂いています。</p>	
36	広島県	③専門	<p>現在、広島市消防局を退職しましたが、引き続き嘱託として勤務しています。消防職員時代の約20年間自主防災会の職員育成指導にたずさわり、又現場から自助、共助の重要性を認識しました。また平成22年7月には自宅が集中豪雨で被災し、復旧復興も経験しました。地域の防災意識の高揚と防災力の向上に全力で取り組んでいきます。</p>	広島県支部
* 37	広島県	①講師②指導③専門④資料⑤その他	<p>①救急救命士歴20年、現場出動回数1万5千回以上、応急手当指導3千人以上(消防団員応急手当指導者への講習含)実施している。②消防職員時に防災担当者として、各種防災訓練、出前訓練、出前講座、生活避難所マニュアル訓練指導等の指導および実施している。</p> <p>③現在は「広島市総合防災センター」で指導講師として、各種法定講習をはじめ事業所、自主防災会、大学性~小学生、幼稚園・保育園児等に対し、年間を通して各種防災指導に従事している。(日本消防施設安全センター認定講師)</p> <p>④広島県自主防災アドバイザーとして、同県から依頼された地域の防災指導を継続実施している。⑤地域の自主防災会役員、防犯組合理事として、社会福祉協議会、町内会等への防災・防犯講演を実施している。⑥PC、プロジェクター、スクリーン、AEDトレーナー、人形等を個人で所有している。</p>	
38	香川県	①講師②指導④資料	<p>気象庁で40余年災害調査や自然災害(地震含む)の減災の業務を行ってきた。退官後は経験を生かして学生、市民、市職員等、防災、減災についてPW(パワーポイント)を使用して講義、講演を行っている。</p>	
39	高知県	①講師②指導③専門④資料	<p>1 日本赤十字社高知県支部に在職中、各種事故災害に救護コマンドーとして出動(中国上海列車事故、兵庫阪神淡路地震災害、高知市大水害、高知県西南豪雨災害、新潟県中越地震災害、ANAボンバル機胴体着陸事故等)</p> <p>2 元 高知県災害医療検討委員会委員 高知県防災会議幹事 高知県国民保護協議会委員 高知県南海地震条例作り検討委員として条例の作成に当たり平成20年終了</p> <p>3 十数年来、海外赤十字社とファーストエイド、ストックキング救急法等の技術交流を実施。</p> <p>4 独自著書 法人職場危機管理マニュアル(地震災害編) だれでもできる応急処置パンスト救急法、コンパス出版 その他</p>	

No.	都道府県	専門性	自己PR	推薦
			<p>5 指導内容 ①災害救護について ②自主防災組織の立ち上げ運営について ③学校防災の危機管理について ④自主自助育成について ⑤災害から命を守るための対策について ⑥命を守るパスト救急法実技 ⑦災害救護に必要な実技について 等</p> <p>その他高知県生活安全危機管理研究所準備中</p>	
40	長崎県	①講師②指導	<p>(プロフィール抜粋)平成3年 雲仙岳災害ボランティア協議会を創設し事務局長となる(翌年 島原ボランティア協議会となる)。平成6年 奥尻島にボランティア活動に参加。平成7年 阪神・淡路大震災直後からボランティア活動に参加。平成8年 対馬重油流出事故に先発隊として参加。平成12年 有珠山噴火災害に当初よりコーディネーターとして参加。平成13年 水俣市土砂災害にボランティア参加。平成14年新潟中越地震にボランティア参加。平成15年 宮崎水害に調査隊として参加。平成19年 NPO法人島原ボランティア協議会理事長。</p>	
41	大分県	①講師②指導③専門④資料	<p>・事業継続計画(BCP)地域継続計画(CCP)の作成支援 ・防災ボランティア安全衛生指導提言 ・福祉避難所運営指導HUG ・図上訓練指導(目黒メソッド、DIG、エマルゴTS、家庭内DIG)などオリジナル訓練の提供とその分析 ・自主防災組織設立支援 ・マイハザードマップ作成支援 ・現状にあったリアルな訓練指導</p>	大分県支部
42	鹿児島県	①講師②指導③専門④資料	<p>消防人生の中で培った災害の知識と、風水害、火山の異常現象等、幾多の災害対応の経験を活かし、地域や事業所等の防災力の向上に貢献したい。特に、自主防災活動の推進には、力を入れたい。在職中から、防災講演は、数多く経験しています。</p>	鹿児島支部
43	鹿児島県	①講師②指導③専門④資料	<p>消防職員として救急救命士の資格を得、消防・救急救助業務に携わりながら、高度救急業務及び応急手当普及啓発活動の確立努めました。さらに、予防課専従となり、防火管理者の養成や防火・防災の指導等を数多く経験したところです。</p> <p>そこで、上記の経験を活かし、退職後も住民の安全安心に役立つために、防災士の資格を得ました。なお、現在は鹿児島県支部長として、支部活動に従事しながら、地域での防災力の向上に努めています。</p>	鹿児島支部

(*は、平成26年3月28日の理事会にて承認の方です)